

よなごしりつとしよかんしょぞう
米子市立図書館所蔵

よなごじょうさんこうしりょう

米子城参考資料 リスト

～よなぼんのふるさとガイドブック～
パスファインダー

2022

にほんさいきょう しろ きねんごう

日本最強の城記念号



もくじ・・・2 p

よなごじょう

1.米子城ガイドマップ・・・3 p

よなごじょう ふくげんず えず

2.米子城の復元図・絵図・・・3 p

よなごじょう れきし

3.米子城の歴史・・・4 p

よなごじょう みんわ

4.米子城の民話・・・5 p

よなごじょう じんぶつ

5.米子城の人物・・・7 p

よなご じょうかまち

6.米子の城下町・・・8 p

しろやま しぜん せきぶつ

7.城山の自然・石仏・・・9 p

よなごじょうしゅうへん しろあと

8.米子城周辺の城跡・・・10 p

よなごじょう しろやま かん しょうかい

米子城・城山に関するレファレンスの紹介・・・11 p

こくりつこっかいとしよかん きょうどう

国立国会図書館レファレンス協同データベース・・・

16 p

1. 米子城ガイドマップ



『海に臨む天空の城鳥取県米子市観光ガイド』

(米子市観光課 2019)

Y224ウミ (2階米子城コーナー)

米子城をはじめ、米子の見どころ満載の観光ガイドです。米子城の歴史と、「もっと知りたい! 米子城」のコンテンツを見ることができるQRコードがついています。

『米子城跡ガイドマップ』

(米子市文化振興課 2019)

Y224ヨナ (2階米子城コーナー)

米子城の歴史や構造、城下町など、コンパクトにまとめられた全18pの小冊子です。10pには米子市立図書館が発行している「ふるさと米子探検隊第2号」の米子城絵図も記載されています。15pには米子城周辺のお城も紹介されています。

『ふるさと米子探検隊第2号』

米子城入門の巻』

(米子市立図書館 2005)

無料配布 (ふるさと子どもコーナー)

米子市立図書館が発行するふるさとのガイドブックです。第2号は「米子城入門の巻」。米子城の城下町地図や歴史を掲載しています。

2. 米子城の復元図・絵図



『よみがえる日本の城6』

(学研 2004)

Y52/A4 (2階米子城コーナー)

米子城復元CG、城の歴史、城の構成、大小天守の紹介が掲載されています。CG写真は圧巻です。

『週刊日本の城23』

(ディアゴスティーニ・ジャパン 2013)

Y224/シュ (2階米子城コーナー)

「米子城異形の大小天守」というタイトルで巻頭特集に掲載されています。CGで復元された天守や復元図もあり、見ごたえがあります。

『週刊日本の城48』

(ディアゴスティーニ・ジャパン 2013)

Y224/シュ (2階米子城コーナー)

「ありし日の米子城」と題し米子城の復元CG、「米子城を歩く」と題し米子城周辺の航空写真と米子城関連の歴史的建造物が紹介されています。

『ワイド&パノラマ俯瞰・復元イラスト戦国
の城』

(香川元太郎 2021)

Y521/カガ(2階米子城コーナー)

江戸時代などの有名なお城はは絵図や古写真がのこっていますが、古い時代のお城は資料があまり残っていません。この本はそういった資料がないお城を研究者たちが調べ上げ、絵本作家の香川元太郎さんが復元図を描いたものです。米子城も登場します。ぜひご覧ください。

『米子城絵図面 米子城資料』

第1集, 第2集

(米子市立山陰歴史館 2001, 2018)

Y52/Y4/1, Y521ヨナ(2階米子城コーナー)

米子城の建物図、俯瞰図が掲載されています。巻末に米子城年表あり。

3.米子城の歴史



『新修米子市史 近世通史編』第3巻

(米子市 2004)

Y224/Y19(2階米子市コーナー)

7P～第一編「近世米子の政治・経済・社会」に米子城の歴史が掲載されています。

『山陰歴史館ブックレット』1-8巻

(船越元四郎, 山陰歴史館 1994-1998)

Y224/S9(2階米子城コーナー)

山陰歴史館が発行する15cm×10cmの米子城ブックレットシリーズです。文章を中心に、米子城についてわかりやすく解説されています。

『米子城歴代城主』①

『米子城にまつわる民話』②

『米子城の家臣団』③

『米子城の城下町と生活』④

『錦公園と米子港の歴史』⑤

『米子城山の植物について』⑥

『米子城主加藤貞泰とその家臣団Ⅰ』⑦

『米子城主加藤貞泰とその家臣団Ⅱ』⑧

『ふるさと歴史めぐり中学生版鳥取県史』

(鳥取県教育委員会 2002)

Y20/T11-3(2階ふるさとこどもコーナー)

第2章「武士の活躍(中世)から第3章「鳥取藩の時代(近世)」までの動きがわかりやすく解説されています。米子城騒動についても31-32Pにくわしくまとめてあります。

『江戸時代の人々の暮らし
～米子城その歴史をさぐる』
(米子市立山陰歴史館 2012)
Y224/エド (2階米子城コーナー)

平成24年に米子市立山陰歴史館で開催された企画展の図録です。米子城の成り立ち、関連年表、歴史、武家屋敷発掘調査報告、米子の商家、在方(町以外)のくらしなど、江戸時代の米子にまつわるくらしについて解説された1冊です。

『伯耆米子城』
(佐々木謙/著 2000)
0952/S1-2 (2階米子城コーナー)

米子城に関する歴史、構造、殿様、文学、年表、城下町など、文章を中心にまとめられています。

『復刻伯耆米子城』
(佐々木謙/著 立花書院 2021)
Y224ササ (2階米子城コーナー)

『伯耆米子城』の復刻版です。米子城の歴史、人物、米子城防衛の寺などが掲載されています。

『山陰の城』
(相賀徹夫 1981)
Y095.2/O3 (2階米子城コーナー)

米子城は144P～155Pに掲載。その歴史、構造などが分かりやすくコンパクトに紹介されています。米子市内にあった城の一覧表も見るができます。

『日本城郭体系14』
(新人物往来社 1980)
Y095.2/N2 (2階米子城コーナー)

米子城は123P～126Pに掲載。米子城のほか、尾高城など県内の城も掲載されています。

『伯耆米子城』
(中村均/編 ハーベスト出版)
Y224/ホウ (2階米子城コーナー)

米子城と町の歴史、城の構造、建築、町家など、米子城の最前線の研究成果が収められています。巻末には米子城関係年表の掲載あり。2022年には『鳥取城』も出版されました。

4.米子城の民話



『米子城にまつわる民話』
(川上迪彦/著 1994)
Y224/S9/2 (2階米子城コーナー)

山陰歴史館が発行する米子城ブックレット第2巻です。米子城にまつわる民話が掲載されています。

『新修米子市史第5巻 民俗編』
(米子市編さん協議会 2000)
Y224/ヨナ (2階米子市コーナー)

「第十章 口承文芸」に、米子にまつわる民話が多数掲載されています。米子城の話は「米子城の人柱」「米子城の殿さんと茶碗」「米子城の幽霊」があります。

『中海の民話』
(立花書院 2003)
Y38/N19 (2階郷土コーナー)

中海周辺に伝わる民話を資料や取材をもとに70話収集した1冊です。米子城の話は「米子城の妖怪」「米子城の怪談」が掲載されています。

『中海の怪談』

(立花書院 2004)

Y38/N19 (2階郷土コーナー)

「中海の怪談」「中海の狐伝説」の2章立てで、米子市、安来市、松江市などを中心に伝わる怪伝説を集めた1冊です。米子市の伝説は「感応寺の晩鐘」「米子城の妖怪」「八百比丘尼の話」「中海の海坊主」「藤助と狼の話」が掲載されています。伝説にまつわる神社や景観の写真も多数あります。

『鳥取むかしばなし』

(田中寅夫/著 富士書店 2004)

Y388タナ (2階郷土コーナー)

東部のむかしばなし、中部のむかしばなし、西部のむかしばなしの章立てで構成されています。西部のむかしばなしに「久米城ものがたり」が掲載されています。

『(続) 続編 鳥取県の民話・神話・伝説・昔話』

(田邊正利/採話 2004)

Y388タナ (2階郷土コーナー)

「鳥取県の民話・神話・伝説・昔話」シリーズ3冊目になります。「城の人柱」として米子・湊山の伝説が収録されています。

『因伯昔ばなし第4集』

(鳥取民話研究会 1974)

09.38/T5/4 (2階郷土コーナー)

「蛇の民話・伝説」が第4集のテーマとなっています。「市町村に伝承された蛇の昔ばなし」として、「米子城と蛇山」が掲載されています。

『ふるさとの民話 鳥取県西部編Ⅱ 第十二集』

(酒井董美/著 ハーベスト出版 2015)

Y388サカ (2階郷土コーナー)

山陰で採話された民話を数多く収めたシリーズです。米子のお話も数多くあります。第十二集には「米子城の人柱」「米子城の殿さんと茶碗」「米子城の幽霊」が掲載されています。

『米子の妖怪 鳥取県伯耆国』

(立花書院 2005)

Y38/Y18 (2階郷土コーナー)

米子の妖怪にまつわる民話を収録しています。米子城に関連する話は、「米子城の人柱」「天主閣の妖怪」「米子に妖怪現れる」が掲載されています。また、荒尾家の屋敷の話として、「お菊の井戸」も掲載されています。

『鳥取の伝説』

(鳥取県小学校国語教育研究会/編 日本標準 1981)

Y38/T13-2 (2階郷土コーナー)

鳥取県内の伝説を収めた1冊です。「武士や姫にまつわる話」として、「城山の妖怪」が掲載されています。

5.米子城の人物



『米子城物語 中村伯耆守一忠の生涯』

ひろさわ けんいちろう
(廣澤虔一郎 2012)

Y224ヒロ (2階米子城コーナー)

けいちろう るねん よなごじょう じょうしゆ なかわら かず ただ しやうがい か もの
慶長六年(1601)に米子城城主となった中村一忠の生涯を書いた物
がかり
語です。

『山陰歴史館ブックレット』1,3,7,8巻

ふなばやし しろう さんいん れきしかん
(船越元四郎 山陰歴史館 1994-1998)

Y224/S9 (2階米子城コーナー)

さんいん れきしかん はつごう よなごじょう
山陰歴史館が発行する15cm×10cmの米子城ブックレットシリーズ
です。文章を中心に、米子城についてわかりやすく解説されていま
す。①巻には『米子城歴代城主』、③巻には『米子城の家臣団』、7
巻には『米子城城主加藤貞泰とその家臣団I』、8巻には『米子城主
かとうさだやす かしんだん しゅうろく
加藤貞泰とその家臣団II』が収録されています。

『三百藩藩主人名事典 第四巻』

さんひやく はん ほんしゆ じんめい じてん だいよん かん
(藩主人名事典編纂委員会/編 1986)

092.81/N5 (2階郷土コーナー)

けいちろう ごねん めいじ よねん はいほんちげん やく わんかん じん ほん ほんしゆ
慶長五年から明治四年の廃藩置県までの約270年間に任藩した藩主
しゅうろく だいよんかん ちゅうごく ちほう しこく ちほう きゅうしゅう ちほう ほんしゆ けいさい
を収録。第四巻は中国地方と四国地方、九州地方の藩主が掲載されて
います。伯耆米子藩は46P~47P、中村一忠と加藤貞泰が掲載され
ています。

『三百藩家臣人名事典 第五巻』

さんひやく はん かしん じんめい じてん だいご かん
(家臣人名事典編纂委員会/編 1988)

09281/K9/N5 (2階郷土コーナー)

えど じだい かしん ほん つか しりょうてき たし じせき のこ じんぶつ
江戸時代に家臣として藩に仕え、史料的に確かな事績を残した人物に
しゅうろく だいごかん きんき ちほう ちゅうごく ちほう しゅうろく とつり
ついて収録されています。第五巻は近畿地方と中国地方を収録。鳥取
藩は303Pから掲載されています。

『鳥取池田家の殿様』

かわて だつ かい ふじしよてん
(河手龍海 富士書店 1991)

Y288/K6 (2階郷土コーナー)

とつり ほん いけだけ かけい す しょたい ほんしゆ けいだ みつなか さんだい ほんしゆ いけだ よし
鳥取藩の池田家の家系図と、初代藩主池田光仲から三代藩主池田吉
やす ほんしゆ ささ あらおし かつらう しょうかい
泰、藩主を支えた荒尾氏をはじめとする家老たちについて紹介されて
います。

『続・鳥取池田家の殿様』

かわて だつ かい ふじしよてん
(河手龍海 富士書店 1993)

Y288/K6/2 (2階郷土コーナー)

とつり いけだけ とのさま ぞくへん はつごう
『鳥取池田家の殿様』の続編として発行されました。四代藩主池田宗
やす じゅういちだい ほんしゆ いけだ よし たか しゅうかい
泰から、十一代藩主池田慶栄まで紹介されています。

『戦国大名尼子氏の研究』

せんごく だいまいよう あまこし けんきゆう
(長谷川博史/著 吉川弘文館 2018)

Y200/ハセ (2階郷土コーナー)

ちゅうごく ちほう くんりん せんごく だいまいよう あまこし せんごく どうらん なか めつぽう
中国地方に君臨した戦国大名の尼子氏。戦国動乱の中で滅亡したため
その実態は不明でした。残された史料から、その実像に迫った一冊で
す。

いずもあまこいちぞく
『出雲尼子一族』
(米原正義/著 吉川弘文館 2015)
Y288/ヨネ (2階郷土コーナー)

あまこ いちぞく はってん めつぼう とだ じょう かいじょう など あまこ すうだい れきし たんねん
尼子一族の発展から滅亡、富田城の開城など、尼子数代の歴史を丹念
に研究、考証した一冊。1980年に出版されましたが、2015年に新
装版が発行されました。

やまな さんいんしほくごだいまう えいこせいすい
『The山名 山陰守護大名の栄枯盛衰』
(鳥取市歴史博物館 2012)
Y288/イシ (2階郷土コーナー)

とっとりし れきし ほくぶつかん ねん かいさい てんらんかい ずるく さんいん ちほ
鳥取市歴史博物館で2012年に開催された展覧会の図録です。山陰地
方の守護大名として支配していた山名氏一族の歴史に迫ります。

とっとり あまこ ししょうでん
『鳥取尼子氏小伝』
(尼子勝久/著 鳥取尼子氏小伝出版会 2013)
Y288/イシ (2階郷土コーナー)

ちゅうごく ちほう おおうし にだい せいりょく きょうたい ちから あまこし
中国地方において大内氏との二大勢力として強大な力をもった尼子
氏。鳥取市在住の尼子の子孫である尼子勝久さんが、史料をもとに調
査、研究をされました。巻末に尼子氏関係の小説一覧、尼子氏関係年
譜を掲載。

6.米子の城下町



さんいんれきしかん ほっこう
『山陰歴史館ブックレット』1-8巻
(船越元四郎, 山陰歴史館 1994-1998)
Y224/S9 (2階米子城コーナー)

さんいんれきしかん ほっこう
山陰歴史館が発行する15cm×10cmの米子城ブックレットシリーズ
です。文章を中心に、米子城についてわかりやすく解説されていま
す。4巻には『米子城の城下町と生活』、5巻には『錦公園と米子港
の歴史』が収録されています。

よなご しょうじ はちじゅうはち ある
『米子の小路八十八まち歩きガイドブック』
(よなごまちなか歩か会 2018)
Y224/3f (2階米子コーナー)

よなご じょうかまち しょうじ なまえ ゆらい ちず
米子の城下町にある小路の名前、由来が地図とともに掲載されていま
す。読んで楽しい、歩いて楽しいガイドブックです。

よなご ふるさと さんぽ かいでいばん
『よなごのふるさと散歩 改訂版』
(米子市立山陰歴史館運営委員会/編 2012)
Y224/ヨナ (2階ふるさと子どもコーナー)

よなご かくちいき れきしてきけんきょうぶつ しせつ いせき など かいせつ きつ
米子の各地域の歴史的建造物、施設、遺跡などを解説した1冊です。
城山とその周辺、城下町についてもくわしく掲載されています。
ふりがなつきで読みやすいです。

ふくこく ほう きたよなごじょう
『復刻伯耆米子城』
(佐々木謙/著 立花書院 2021)
Y224/ササ (2階米子城コーナー)

ほうき よなごじょう ふくこくばん よなごじょう れきし じんぶつ よなごじょう ほうえい てら
『伯耆米子城』の復刻版。米子城の歴史、人物、米子城防衛の寺など
が掲載されています。112P～「城下町点描」にそれぞれの町の町屋
図が掲載されています。

『米子城跡ガイドマップ』

(米子市文化振興課 2019)

Y224ヨナ (2階米子城コーナー)

米子城の歴史や構造、城下町など、コンパクトにまとめられた全18pの小冊子です。10pには米子市立図書館が発行している「ふるさと米子探検隊第2号」の米子城絵図も記載されています。15pには米子城周辺のお城も紹介されています。

『ふるさと米子探検隊第2号
米子城入門の巻』

(米子市立図書館 2005)

無料配布 (ふるさと子どもコーナー)

米子市立図書館が発行するふるさとのガイドブックです。第2号は「米子城入門の巻」。米子城の城下町地図や歴史を掲載しています。

『江戸時代の人々の暮らし 米子城その歴史
をさぐる』

(米子市立山陰歴史館 2012)

Y224/エド (2階米子城コーナー)

平成24年(2012)に山陰歴史館で開催された「もっと知りたい! 米子城」企画展の図録です。米子城の歴史をわかりやすく時系列で知ることができます。米子城下町の発掘調査、在方の暮らし、町人区の形成などが豊富な図と写真とともに掲載されています。

『まちあるきブックレット米子の町家まちな
み八十八』

(米子の町家・町並み保存再生プロジェクト/編 米子観光まちづくり公社/発行 2022)

Y224ヨナ (2階郷土コーナー)

令和4年で10年を迎えた「米子の町家・町並み保存再生プロジェクト」が、これまでの調査活動による成果と、旧城下町に残されている建物についてまとめています。米子の旧城下町の形成と展開からはじまり、そこに関連する建物が紹介されています。建物の思い出や生活の様子などを語る多数のコラムも読み応えがあります。旧城下町の変遷を知る入門書として、また、米子の町歩きガイドブックとしても活用できる1冊です。

『よなご大昔物語 米子城編』

(米子市埋蔵文化財センター 2018)

Y224ヨナ (2階ふるさとこどもコーナー)

米子市埋蔵文化財センターが発行する「よなご大昔物語」シリーズ〈原始時代編〉〈古代中世編〉に続く〈米子城編〉です。米子城の歴史から米子城騒動、潮止め松、四重櫓、壊された米子城にまつわる蛇体新助(山本新助)のことなど、コンパクトにまとめられています。

7. 城山の自然・石仏



『山陰歴史館ブックレット』5巻・6巻

(船越元四郎、山陰歴史館 1994-1998)

Y224/S9 (2階米子城コーナー)

山陰歴史館が発行する15cm×10cmの米子城ブックレットシリーズです。文章を中心に、米子城についてわかりやすく解説されています。⑤巻は『錦公園と米子港の歴史』、⑥巻『米子城山の植物について』まとめられています。

『史跡米子城跡保存活用計画書』

(米子市 2017)

Y224ヨナ (2階米子城コーナー)

米子城の価値を明らかにし、適切な保存管理を行い、活用整備の方向性を示すため、平成29年に「史跡米子城跡保存活用計画」が策定されました。その指針を書いた計画書です。米子城の地理的環境や歴史、周辺の建物なども網羅されています。49pに米子城関連年表つき。230pには米子城絵図の一覧もあります。

『史跡米子城跡整備基本計画』

(米子市 2019)

Y224シセ (2階米子城コーナー)

平成29年に米子城跡の保存活用計画が策定されました。その計画を踏まえ、今後の整備の基本的な考えと方向性を示すため、「史跡米子城跡整備検討委員会」が平成31年に設置されました。この資料は今後の米子城跡の保存、活用の羅針盤となる一冊です。第2章には「米子城を取り巻く環境」として、自然や地理的環境、条例や歴史などにも触れられています。尾高城、月山富田城、江美城、松江城といった米子城周辺の城跡も紹介されています。31pには米子城関連の年表つき。

『城山大師・八十八か所石仏めぐり ガイドマップ』

(城山大師維持奉仕会 2017)

Y224/シロ (2階米子城コーナー)

大正時代に創始された城山周辺にある石仏が紹介されています。マップつき。数少ない城山大師の貴重な資料となっています。

8. 米子城周辺の城跡



『山陰の城館跡～攻防の跡をたずねて～山陰 史跡ガイドブック第1巻 改訂版』

(史跡整備ネットワーク会議 2021)

Y224ヒロ (2階米子城コーナー)

43Pの小冊子です。山陰の城跡のほとんどは、戦国時代以前にできた山城で、多くは天然の地形を利用した防御施設が設けられました。島根、鳥取の戦国時代の城跡が地図とともに分かりやすく紹介されています。

『米子城周辺歴史探検ガイド』

(しろ凸たん 2017)

Y224ヨナ (2階米子城コーナー)

11Pの小冊子です。米子城をはじめ、周辺のお城や米子城にゆかりのあるお寺をかわいいイメージキャラクターとともに紹介。ふりがなつきで誰でも読みやすいガイドブックです。

『日本の城辞典』

(日本城址研究会 2021)

Y521ニホ (2階郷土コーナー)

「日本全国一万三十八古城跡総覧」として、各都道府県別に古城跡がリストアップされています。所在地、年代、立地、城主、遺構、歴史的な概要も掲載されています。

『週刊日本の城改訂版137』

(デアゴスティーニ・ジャパン 2019)

Y226シュ (2階郷土コーナー)

デアゴスティーニ・ジャパンから発行されている「週刊日本の城」シリーズで、この号では鳥取県江府町にある江美城が紹介されています。

『日本城郭体系14』

(新人物往來社 1980)

Y095.2/N2 (2階米子城コーナー)

米子城は123P～126Pに掲載。米子城のほか、尾高城など県内の城も掲載されています。

『山陰の戦国史跡を歩く 鳥取編』

(加賀康之/著 ハーベスト出版 2018)

Y291/カガ (2階郷土コーナー)

鳥取県内の戦国時代に関する史跡を網羅したガイドブックです。県内各地の建築物や場所のくわしい歴史が丁寧に解説されています。2019年には島根県編も出版されました。戦国時代の史跡が山陰両県に多く残っていることに感動します。

『尼子氏の城郭と合戦』

(寺井毅/著 戎光祥出版 2018)

Y200/ハセ (2階郷土コーナー)

山陰の戦国大名、尼子氏と大内氏、毛利氏が激戦をくりひろげる中で築かれた81の城郭をとりあげ、その発展過程や特質を論じます(本書の凡例参照)。各城館の標高や探訪レベルも記載されていて、城跡を探訪するためのトレッキングガイドとしても見どころ満載です。

米子城、湊山に関する レファレンスの紹介

米子市立図書館では、米子城や城山（湊山）に関するレファレンス（資料相談）が県内外から多く寄せられます。その一部を紹介します。

Q1 米子城のことが分かりやすく書いてある資料はないか

『米子城跡ガイドマップ』（文化振興課発行）冊子と、米子市立図書館「ふるさと米子探検隊2号」を紹介。

Q2. 米子城の観光に関する新聞記事を探している

米子市立図書館では「日本海新聞記事索引データベース」の利用が可能。2000年から直近1週間前までの日本海新聞をパソコンで検索することができる。検索画面で「米子城」「観光」キーワード検索。複数の該当記事があり、複写を行った。（複写は白黒10円、カラー30円）そのほか、朝日新聞データベース「クロスサーチ」、読売新聞データベース「ヨミダス歴史館」も検索可能。

Q3. 米子城の絵図と吉川広家、中村一忠の肖像がみたい

『米子城絵図 米子城資料第4集』（米子市立山陰歴史館//編）、『復刻伯耆米子城』（立花書院）28p「吉川広家画像」、同32pの中村一忠の感応寺内の銅像写真を紹介。

Q4. 米子組と荒尾家臣団の関係がわかるような資料が読みたい

以下の文献を紹介。

- 山陰歴史館ブックレット3『米子城の家臣団』
- 『米子市史第2巻近世編』第2章
- 『鳥取地域史研究第2号』「米子組土と荒尾家臣団」坂本敬司

Q5. 米子城城主の荒尾氏について知りたい

以下の文献を紹介。

- 『米子城資料』第2集、第3集、『復刻版 伯耆米子城』佐々木謙//著 『米子の歴史と人物』『米子の歴史』『新修米子市史第2巻 近世』

Q6. 鳥取藩家老で、米子を領した荒尾氏について。主に荒尾善次、その娘の善応院についての生没年、墓碑の有無を知りたい

- 『米子城資料第2集』系図、善次についての記載解説文あり。
- 『鳥取藩史』第1巻 善応院の生没年、菩提寺、経歴等記載あり。
- 『寛政重修諸家譜 第10巻』329P 荒尾善次の略歴、没年あり。

以下は善応院の息子池田輝政および夫の信輝についての記述はあるが、善応院、善次についての記述は見当たらなかった。

- 『鳥取のお殿様』
- 『大名池田家のひろがり』
- 『池田公氏略』
- 『復刻版伯耆米子城』
- 『岡山県史』近世Ⅰ

Q7. 第二次世界大戦中の飯山について資料があるか

- 『伯耆文化研究 第16号』22ページに記載あり。
- 『史跡米子城跡 保存活用計画書』飯山の変遷のページに記載あり
- 総務省HP 「米子市における戦災の状況」

https://www.soumu.go.jp/main_sosiki/daijinkanbou/sensai/situation/state/chugoku_01.html

- 『全国の戦災の追悼施設・追悼式』英霊塔の記載あり

Q8. 米子城騒動について知りたい

以下の資料を紹介

- 『米子城騒動始末記』 ○ 『鳥取藩の事件簿』
- 『ふるさと歴史めぐり』 ○ 『新修米子市史第2巻 近世』

Q9. 中村一忠の死因、殉死した小姓についてくわしく知りたい

以下の資料を紹介。

- 『伯耆米子城』 中井均//著
- 『新修米子市史 第2巻 近世』
- 『中村一忠の生涯』
- 山陰歴史館ブックレット1 『米子城歴代城主』
- 『新修米子市史 第2巻 近世』
- 『復刻版伯耆米子城』 佐々木謙//著

Q10. 中村一忠氏に仕えていた垂井勘解由と服部若狭が自害した庭の正確な場所を知りたい

具体的な場所が表記されている資料は見当たらなかった。

参考資料に『中村記全・弐』

『米子城物語』には「感心寺の境内で切腹。庭に座を構え…腹を切った」と記載。

『復刻版伯耆米子城』 『中村一氏・一忠伝拾遺』なども同様の文章のみ確認。

Q11. 米子の「丸山」というのはどの山のことか

『復刻版伯耆米子城』 佐々木謙//著 P5、『よみがえる日本の城6』 P53 より、米子城は湊山、飯山、丸山よりなる。米子城内膳丸が丸山につくられたとの記述あり。

Q12. 米子城が石垣しか残っていない理由を知りたい。戦で焼け落ちたのかな（小学生からの質問）

参考文献

- 『米子の歴史』山陰歴史館//発行
- 『復刻版伯耆米子城』佐々木謙//著
- 『新しい米子の歴史』
- 『百年の鯉』（小説）
- 『米子案内』明治45年
- 米子市HP「米子城の歴史」
- 『史跡米子城跡整備基本計画』
- 米子市HP <https://www.city.yonago.lg.jp/4438.htm>
- 『江戸時代の人々のくらし 米子城その歴史をさぐる』米子市立山陰歴史館

米子市HPには「明治2年、米子城は荒尾氏から藩庁へ引き渡され、その後、士族に払い下げられました。そして明治6年（1873年）には、米子城の建物の大半は売られて、数年後に取り壊されることとなります」とある。

『史跡米子城跡整備基本計画』の年表によると、明治2年2月に荒尾氏が自分手政治廃止を発令、5月に朝廷より米子城返上の命令あり。8月に米子城を藩庁へ引き渡す。明治4年に廃藩置県によって伯耆国は鳥取県となり、米子城山は士族小倉直人らに払い下げとなる。明治6年に米子城を大蔵省に移す。廃城令、廃刀令が発令され、米子城内の建物類が売却され、数年後、取り壊される。とある。取り壊された後は古物商に売られた、買い取った山本新助によって風呂屋の薪にされたなどのエピソードについて書かれた資料が多い。

Q13. 米子城の古物商に売却した値段は「15円」との記述を見たことがある。今で換算すると、およそどのくらいの値段か知りたい

明治時代の貨幣、物価について記述のあるもの…『日本の貨幣 貨幣が語る時代と生活』 桑島和夫//著
P158 明治の物価の表※米10キログラムが51銭から82銭とある。現在3000円として、(100銭=1円)、3000円×30倍=90000円)。背広(米国製布地で仕立て)が17円50銭から25円なので、大体同じ金額。『米子市史』P869,P794 明治12年ごろの戸長の年俸参考、35位以上50位以下の年俸が12円~18円。

ウェブサイト日本円消費者物価計算機<https://yaruzou.net/hprice/hprice-calc.html> CPI:「1880年(M13)の15円は、2019年(R1)の80,133円にあたります(5342倍)」とある。

Q14. 米子城周辺のたんぽぽを調査した資料を見たい

『よなご88探宝会』(2017 よなご88探宝会)
「野生植物の現状を探る」という副題で、第68回学術講演会を掲載している。

国立国会図書館レファレンス協同データベース

<https://crd.ndl.go.jp/reference/>

米子市立図書館は2014年より国立国会図書館レファレンス協同データベース参加館となり、多数のレファレンスを登録しています。米子城に関するレファレンスも登録しています。ぜひご覧ください。

大石内蔵助の母親が鳥取県米子市にゆかりがあると聞いた。家系図、史実などわかる本が見たい。

https://crd.ndl.go.jp/reference/detail?page=ref_view&id=1000296576

米子市にある湊山球場の歴史について、大まかな成立背景や行われた主な試合などを知りたい。

https://crd.ndl.go.jp/reference/detail?page=ref_view&id=1000285791
